

神奈川ウォーキング参加： H22-16

まつりシリーズ その6

日向薬師春祭り 神木のぼり

日時：平成 23 年 4 月 15 日（金） 集合 小田急線 伊勢原駅 10 時

コース：伊勢原駅（バス）→高橋→日陰道→日向薬師→日向山→日向薬師「神木祭り」→神橋→鎧塚→
太田道灌の墓→市民の森ふじやま公園→伊勢原駅 26,000 歩 1
8 km（伊藤 30,000 歩 19,5 km 自宅含む）

参加者：高橋文L・藤原倭SL・吉成・岩辺・斎藤優・伊藤美・藁谷義・石川研・新谷・小野里・舘・伊藤真
合計 12 名

- ・高橋文雄さんの「まつりシリーズ」その6。「日向薬師」の情報を検索して見ると、大山の隣で由緒ある薬師で、他のスケジュールの谷間で参加決定。オーストラリア旅行組の期間中で参加人数は、男7人と熟女5人の12人で、丁度纏まりの良い人数でした。気温も21℃と暖かく、里山の山桜が黄緑の新緑に映えて最高の景色でした。高橋文さんのまつりシリーズ、御祭気分に参加すると大変、必ず厳しい健脚コースがある事、皆さん心得ております。約14km→18km、予想どおりでした。「神木のぼり祭」と厳しい「日向山」登山。素晴らしい「里山ウォーキング」の状況は、文章よりも写真でどうぞご覧ください。
- ・下見を含め案内戴きました、高橋文・藤原倭のお二人、所々迷いましたが、それが又良く、その都度野草花を見ながらの里道歩きを楽しませて戴きました。有難うございました。＜歴史資料は日向薬師HP他から引用＞



- ・伊勢原駅発10:15「日向薬師行き」バスに乗る。今日は御祭で長い列。「日向薬師下」でなく、一つ手前の「高橋」で降りる。高橋文さんに通ずる……。日向薬師下で降りると、階段登りがキツイので、敢えて「高橋」で降り、「日向道」でなく「日陰道」を歩く。
←途中道路脇で高橋Lによる、ストレッチをして、大山を見、山桜と新芽が吹き出した、何とも言えぬ美しい里山を見ながら歩く。まるでハイキングペースでしたが……



2011.04.15 日陰道から薬師林道に行く



2011.04.15



日向薬師近く、山吹がお迎え



11時過ぎの日向薬師本堂は人影少、神木の準備完了



2011.04.15



2011.04.15



2011.04.15



・日向薬師「神木登り祭」は13時の始まり。トイレ休憩を取り、お楽しみは後で。その前に本来のウォーキングをしましょう。日向山404m、大山1,252mに比べれば楽なもんだ・・・とはいかないよ！これからの急階段登り、←十分水分補給を取って、頑張りましょう



・急坂ですが、木の根っこが元気を与えてくれました、
12:00~12:30山頂(404m)で昼食



・落された斎藤さんの時計が石碑の前にあり！早速御利益有り！伊藤も写真入りさせてもらい全員12名写真



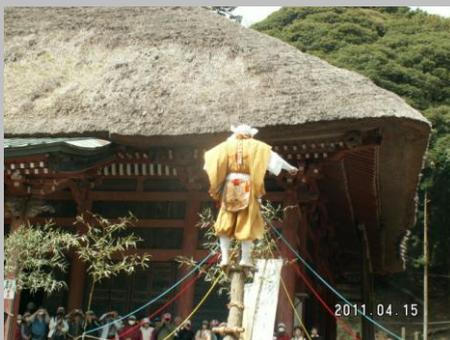
・↑山頂での昼食。下りは楽々・・・少々峯風が。山桜と新芽萌ゆる木々が和ませてくれました。

日向薬師：日向薬師は 716 年僧行基の開山と言われている。鎌倉幕府や天皇家も係わり、紫折薬師（高知大豊）・米山薬師（新潟上越）と共に三大薬師に数えられることもある。

神木登り：山伏姿の修験者 7 人がほら貝を吹き、弓矢で四方を清めた後、高さ 5 m のシイの木に登り、行の満願と身体の安全、そして今回は特別に東日本被災地の復興を祈願<下の写真で順にどうぞ>



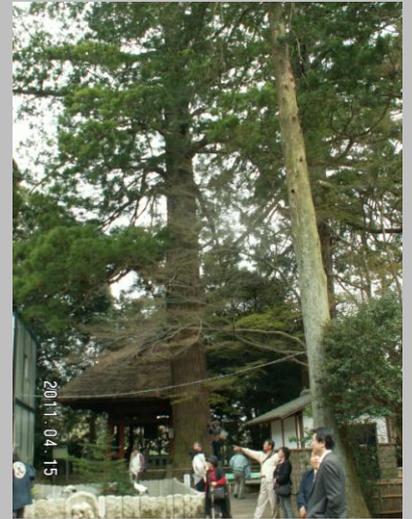
山伏修験者の一言一句覚えるのは大変でしょう、熟練者の皆さんの様でした



・ 13:00~14:00 写真の光景で

行われ、お祓いの弓矢 6 本を拾った人、そして杉の葉っぱの煙を浴びた参列者全員、疫病神のお祓いを受けました。

・宝城坊本堂(薬師堂)は 1660 年幕府から寄進された立木百本と前本堂の古材で修造された国の重要文化財。老朽化と虫害で 2011/11 月より 5 年以上かけて大修理される。重要文化財の薬師三尊像・阿弥陀如来座像・四天王立像・十二神将立像の各木造像は、隣の宝物殿に移され、開帳(¥300)されていました。



↑ 宝城坊鐘堂：歴代天皇の帰依深く、勅願寺となり、952年村上天皇梵鐘寄進、1153年近衛天皇改鑄、光明天皇が暦応3年鑄造したものが現存。

幡かけ2本杉：足利基氏が幡をかけて平和と五穀豊穡を祈ったと伝えられる、樹齢800年で県指定天然記念物、かながわの銘木100選→



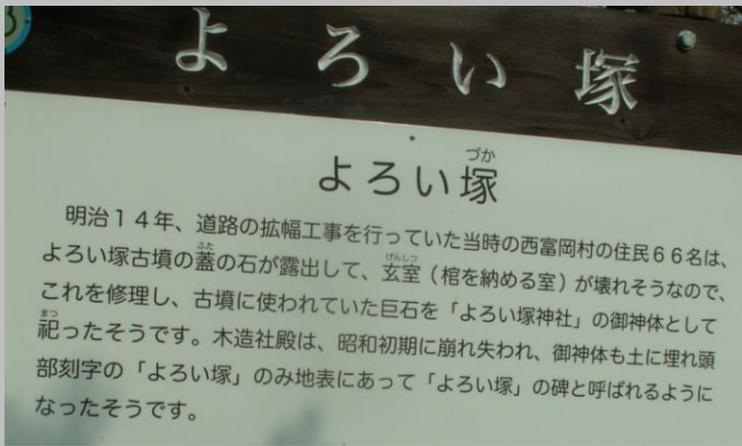
↑ 宝物殿：集合時間14時、20分

前に¥300で入って見ました。木造ですが2m弱の「薬師如来」を真ん中にして、右に「日光菩薩」と左の「月光菩薩」が腰を少し、薬師如来様の方にひねり、微笑んでおられる御姿は、なんと微笑ましく、一見の価値あり。この他多聞天・広目天・持国天・増長天の「四天王」、「十二神将」、「阿弥陀如来」が同じ場所で同時に見学出来ました。本尊の薬師如来は「^{ななほり}鉈彫」で素朴な感じを受けます。

写真中：正面石段、天然岩も加工されており、高橋文「午前中ここを登ると大変きついたので、高橋バス停から日陰道を行きました」。写真右は山門の仁王様。



日向薬師を後にして、里道を迷いながら行きますとご覧の様な一面の野花と綺麗な里山が歓迎してくれました



よろい塚を見てJA高部屋で夕飯の野菜購入→



↑太田道灌の墓は少し荒れ気味



↑曹洞宗洞昌院の枝垂れ桜はお見事↓



←
(カメラレンズに汚れ付き、ごめんなさい。モデルの美熟女さんには申し訳ありません)



↑市民のふじやま公園：東名高速を越えるとすぐのはずが？



編集後記

- ・最後、東海大学付属病院近くの「ふじやま公園」をやっと探し当て、伊勢原駅までバスで帰る条件で公園に登る。ここでクールダウンストレッチし、高橋L今日の歩行、23,500歩、16kmで解散予定。しかし東海大付属病院バス乗り場には誰も向わず、「ここから駅は近いよ！」流石神奈川ウォーキングの精鋭部隊。伊勢原駅到着17時過ぎ解散。26,000歩 18kmよく健脚組並みに歩きました。
- ・サイゼリアで有志、アフターウォーク楽しく反省。